

特集Ⅲ

特集 抗糖尿商材

サラシア、コタラヒムブツ、桑葉、 α リポ酸、
月見草エキス、シルクファイブロインなど

生活習慣病の一角を占める糖尿病患者とその予備群は右肩上がりが増加を続け、厚生労働省による平成19年国民健康・栄養調査で2210万人と発表されていた。しかし、平成20年の調査を基に本紙が推計したところ、2180万人と減少に転じていることが分かった。国のメタボリックシンドローム対策をきっかけに食品や飲料からトクホ、医薬品まで含めたメタボ市場が急拡大し、国民の意識が変わったのだろうか。

体内合成は20歳をピークに減少する。

また、 α リポ酸にはR体とS体の2種類があり、S体は、R体とは逆にPDCの働きを阻害する作用がある。このため α リポ酸の摂取はR体のみが望ましいが、安定性が低く、現在市場に出回っているのはRとSを同量含んだラセミ体だ。シクロケムはこれに対し、 γ CDを用いることでR体のみで安定性を高めた製品の開発に成功した。 γ CDの利用は α リポ酸とCoQ10それぞれが食前食後の低吸収性に対する相性の問題も解決した。

関連会社のコサナでこのR体 α リポ酸とCoQ10を組み合わせた商品「ナノサポート R・リポ酸&CoQ10」を発売開始している。

R体 α リポ酸

糖のエネルギー変換を促進

シクロケム

シクロケム(東京都中央区、☎03-5614-7147)は、抗糖尿に有効な素材としてR体 α リポ酸とCoQ10の組み合わせを提案している。体内に取り込まれた糖が過剰に存在すると、糖化反応が起こりそれによって生成されるAGE

Sの蓄積が糖尿病性合併症や老化、メタボリックシンドロームなど様々な健康障害へ繋がる。それを防ぐためにも、糖をエネルギーに変換することは重要だ。 α リポ酸とCoQ10はこの糖代謝作用の促進で重要な効果をもた

らす。生体内に取り込まれたグルコースはピルビン酸に変換され、ピルビン酸デヒドロゲナーゼ複合体(PDC)の働きによってアセチルCoAに誘導された後、電子伝達系などを経て、生体エネルギーとなる。PDCの働きを促進する必須の補酵素がR体 α リポ酸であり、また、CoQ10は電子伝達系で必須の補酵素として働く。これらはエネルギー産生において必要不可欠な物質だが、生